多摩川最近1年のレース傾向　2コースがポイントに!?

インの1着率がダウン!

多摩川における最近1年間の全レースを集計したデータが表1だ。

まずイン(1コース)の1着率は53.2%。この数字は全国平均より2.3%低い。関東5場では一番高いのだが、それでも全国平均よりは低くなっている。

さらに各コース別の1着率を見ていくと、全国平均と比べてひと目でわかるのが2コースの強さだ。インで2.3%弱いその分を、2コースの1着率にそのまま上乗せしているのがわかる。3コースは同じ数字で、4・5コースは少しだけ高い。

インの2着残しにも注目

またインが勝った時の2着は、2→6コースの順に多い。他のレース場では、3コースの方が多かったり、2～4コースがほぼ同数という場もあるが、多摩川の場合はコースが遠くなるほど、2着数が段階的に少なくなることがわかる。

逆に2コースから外が勝った時の2着が一番多いのは1コース。インは負けても2着に残ることが多い。多摩川では、インも握って回ることがほとんど。差されても大敗するケースは少なく、2着に残ることが多いのだ。

『差し水面』に変貌中!?

続いて表2で、決まり手の傾向もチェックしておきたい。全国より2.1%低い「逃げ」率がどこに回っているかというと、「まくり差し」に1%、「差し」に0.9%。「まくり」は0.4%増にとどまった。

多摩川は、以前は「まくり水面」というイメージがあったが、前述のようにインも握って回る展開が増え、それを突く「まくり差し」「差し」が効くようになってきた。それは最近の選手コメントを聞いてもうなずける傾向だ。

なお3月の68周年の決まり手はサンプル数が少ないので参考程度になるが、「まくり差し」天国だったことがわかる。

表1 多摩川・最近1年間の1着コースと2着コース

多摩川	1着1コース	1着2コース	1着3コース	1着4コース	1着5コース	1着6コース
2着 1コース		6.9%	4.3%	2.8%	2.3%	0.4%
2着 2コース	19.8%		2.9%	2.3%	1.0%	0.1%
2着 3コース	14.0%	3.6%		1.6%	0.7%	0.3%
2着 4コース	10.2%	3.0%	2.4%		1.3%	0.2%
2着 5コース	6.3%	2.0%	1.9%	2.9%		0.4%
2着 6コース	2.9%	0.9%	0.9%	1.0%	0.7%	
合　計	**53.2%**	**16.4%**	**12.4%**	**10.6%**	**6.0%**	**1.4%**
全国平均	**55.5%**	**14.1%**	**12.4%**	**10.4%**	**5.8%**	**1.8%**

(集計期間:2022年7月29日～2023年7月28日)

表2 最近1年間の決まり手傾向／多摩川と全国との比較

		逃げ	まくり	まくり差し	差し	抜き	恵まれ
総合成績	**多摩川**	**50.5%**	**15.6%**	**12.3%**	**13.8%**	**6.9%**	**0.9%**
	全　国	52.6%	15.2%	11.3%	12.9%	7.1%	0.9%
記念(GⅡ以上)	**多摩川68周年**	**62.5%**	**8.3%**	**20.8%**	**2.8%**	**4.2%**	**1.4%**
	全国1年	58.0%	12.1%	11.2%	11.2%	6.7%	0.8%

多摩川で無双状態が続く毒島誠 池田浩二もまず大敗はなし!

表3は、今回の出場選手で最近3年間の多摩川勝率ベスト10。また表4では同期間中に当地で行われたGI・SGレースで優出した選手もリストアップしておいた。

まず、断然の実績を残しているのが毒島誠。地元選手並みの81回も出走して9優出6V。65周年からは2回の優勝を含めて4年連続優出中とほぼ無敵状況だ。

それに続くのは、やはり67→68周年と連続優出中の池田浩二。1着数は少ないが、大敗がほとんどないのが特徴。茅原悠紀も内容は上々。67周年優勝の後もチャレンジカップでは準優3号艇、68周年では準優1号艇と凡走はない。

馬場貴也はチャレンジカップで予選落ち、今年4月のGⅢ企業杯で準優勝と、数字は高いが圧勝の連続というわけではない。評価が微妙なのが小池修平。21年10月のルーキー戦は圧勝で、昨年9月のヤングダービーは準優3号艇。新鋭同士では格上だったが、ここに入っても同じようなレースができるか注目だ。

表3 最近3年間の多摩川勝率ベスト10

順位	選手名	勝率	2連対率	優出	優勝
1	岡村　仁	9.29	85.7	1	1
2	毒島　誠	8.81	79.0	9	6
3	馬場貴也	8.68	68.4	1	0
4	池田浩二	8.49	65.7	3	1
5	小池修平	8.16	68.4	1	1
6	茅原悠紀	8.08	52.0	1	1
7	土屋智則	8.00	69.2	1	0
8	赤岩善生	7.87	64.5	1	0
9	濱野谷憲吾	7.86	64.4	6	1
10	山口　剛	7.86	57.1	2	0

(集計期間:2020年7月29日～2023年7月28日)

表4 最近3年間の多摩川GI以上のレース優出選手

選手名	成績
毒島　誠	68周年①、67周年③
池田浩二	68周年②、67周年④
茅原悠紀	67周年①
柳生泰二	67周年②
山口　剛	21年チャレンジC④
濱野谷憲吾	21年関東地区選③